

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 第5期中長期目標（案）の概要について

令和4年12月

経済産業省 産業技術環境局 産業技術法人室

1. NEDOの目指すべき方向性

- 新しい資本主義に向けた重点分野として、科学技術・イノベーションの抜本拡充、5年10倍増を目指すスタートアップ政策、グリーントランスフォーメーション（GX）等が掲げられる中、資金配分型の国立研究開発法人であるNEDOへの期待が高まっている。
- NEDOは、高度な研究開発マネジメントにより、国の研究開発を成功に導き、その成果を企業等が速やかに事業化・社会実装に繋げるイノベーションを支援。エネルギー・地球環境問題の解決や産業技術力の強化に貢献する。
- このため、NEDOにはエネルギー・環境、産業技術分野における高い知見、研究開発に関連する知識・情報・人脈を活用し、産学官関係者によるプロジェクトマネジメントを行い、最適解を導き出し、成果を出すことが求められる。

上記を踏まえたNEDOの目指すべき方向性

- ① 高度な研究開発マネジメントの実施による成果創出とその成果の企業等による事業化・社会実装（イノベーション）の実現を支援
- ② 上記の活動を支える技術インテリジェンスの蓄積・活用、国への政策エビデンスの提供

2. 中長期目標における主要項目

- NEDOの中長期目標における主要項目を以下の3つに設定。
 - 1 研究開発マネジメントを通じたイノベーション創出への貢献
 - 2 研究開発マネジメントを通じたスタートアップの成長支援
 - 3 政策立案や研究開発マネジメントに貢献する技術インテリジェンスの強化・蓄積
- 特に1, 2の項目においては、NEDOの研究開発マネジメントとそれによる成果を評価する。

<第4期からの変更点>

研究開発の成果の最大化その他の業務の質の向上に関する事項

第4期	第5期
1. 技術開発マネジメント等による研究成果の社会実装の推進	1. 研究開発マネジメントを通じたイノベーション創出への貢献
2. 世界に通用するオープンイノベーションの促進と研究開発型ベンチャー企業の育成	2. 研究開発マネジメントを通じたスタートアップの成長支援
3. 技術に対するインテリジェンス向上による技術開発マネジメントの強化	3. 政策立案や研究開発マネジメントに貢献する技術インテリジェンスの強化・蓄積
4. 技術分野ごとの目標	※基金の資金管理に関わる業務については別の項目(Ⅱ. 基金の資金管理)で評価。ただし、基金で行う研究開発プロジェクトについては、その内容に応じて、1または2で評価する。
5. 特定公募型研究開発業務の実施	
6. 特定半導体の生産施設整備等の助成業務の実施	

3. 評価項目等の変更（概観）

- 第4期：分野と業務を細分化した評価単位。複雑かつセグメントごとの母数に粗密があり、統計的な信頼性を担保できないケースが発生。
- 第5期：NEDOに求められる機能に則して評価項目・単位を整理。分かりやすく、各項目で十分な母数を確保し、適切な総合評価を行えるよう変更。

＜第4期＞ 評価項目／評価指標	評価単位（セグメント）					
	エネ シス	省エネ ・環境	産業 技術	シーズ 発掘等	特定 公募	特定 半導体
I. 研究開発成果の最大化						
1. 技術開発マネジメント等による研究成果の社会実装の推進						
(評価指標1-1)【基幹】 実用化見通し／達成率	○	○	○	/	/	/
(評価指標1-2) 標準化提案率	○	○	○	/	/	/
(評価指標1-3)【基幹】 先導研究非連続テーマ率	○	○	○	○	/	/
(評価指標1-4) 事後評価のマネジメント・成果	○	○	○	/	/	/
2. 世界に通用するオープンイノベーションの促進と研究開発型ベンチャー企業の育成						
(評価指標2-1) 中堅・中小採択金額比率	○	○	○	○	/	/
(評価指標2-2)【基幹】 外部資金獲得率	/	/	/	○	/	/
3. 技術に対するインテリジェンス向上による技術開発マネジメントの強化						
(評価指標3-1)【基幹】 有識者評点	○	○	○	/	/	/
(評価指標3-2) 若手・女性研究者人数	○	○	○	○	/	/
4. 技術分野ごとの目標						
5. 特定公募型研究開発業務の実施						
(評価指標5-1) 評価時のマネジメント	/	/	/	/	○	/
(評価指標5-2) 評価時のマネジメント	/	/	/	/	○	/
(評価指標5-3)【基幹】 NEDO貢献度(GI基金)	/	/	/	/	○	/
6. 特定半導体の生産施設整備等の助成業務の実施						
(評価指標6)	/	/	/	/	/	○
II. 業務運営の効率化						
III. 財務体質の改善、IV. その他重要事項						



＜第5期＞ 評価項目／評価指標	評価単位（セグメント）					
	I. 研究開発成果の最大化					
1. 研究開発マネジメントを通じたイノベーション創出への貢献						
(評価指標1-1)【基幹目標】 マネジメント・成果の外部有識者評点	※年間100～120件のPJが実施される中、各PJをレビューしつつも、評価は、①エネルギーシステム、②省エネ・環境、③産業技術、④シーズ発掘等の4分野の総合評価として実施。					
(評価指標1-2)【成果目標】 NEDOが重要な役割を果たしたと回答した率						
2. 研究開発マネジメントを通じたスタートアップの成長支援						
(評価指標2-1)【基幹目標】 マネジメント・成果の外部有識者評点	○					
(評価指標2-2)【成果目標】 NEDO担当者の対応が非常に満足と回答した率	○					
3. 政策立案や研究開発マネジメントに貢献する技術インテリジェンスの強化・蓄積						
(評価指標3-1)【基幹目標】 有識者評点	○					
(評価指標3-2)【成果目標】 技術シーズの事後評価	○					
II. 基金の資金管理						
III. 業務運営の効率化						
IV. 財務体質の改善、V. その他重要事項						

4. 各主要項目における評価指標

1 研究開発マネジメントを通じたイノベーション創出への貢献

- エネルギーシステム、省エネ・資源循環、半導体・AI・IoT・ロボット、バイオ等の産業技術に関する研究開発を成功に導き、その成果の事業化や社会実装につなげるイノベーション^(注)を促す研究開発マネジメントを抜本的に強化。

(注) イノベーションとは、(1) 社会・顧客の課題解決につながる革新的な手法(技術・アイデア)や既存手法の新たな組合せで新たな価値(製品・サービス等)を創造し、(2) 社会・顧客への普及・浸透を通じて、(3) ビジネス上の対価(キャッシュ)の獲得、社会課題解決に貢献する一連の活動を指す。

- **当該年度の研究開発マネジメント活動について、外部有識者により構成される委員会における総合評価を行う。【基幹目標】**

標準： - ユーザーを巻き込んだサプライチェーン連携
- ステージゲートによる競争の徹底
- 中間評価における指摘を踏まえた計画や体制の変更
- 事業化・社会実装を促す取組(標準化活動等)の実施 等

加点： - NEDO全体のプロジェクトマネジメント力の底上げにつながる取組
- エネルギー・地球環境問題の解決や産業技術力の強化等に貢献する顕著な成果(イノベーション)につながる取組 等

- **追跡調査結果で事業者が、研究開発プロジェクト全体の意思決定、企画、推進で重要な役割を果たしたキーパーソンとして、NEDOが選ばれた割合40%以上を目指し、その割合を高めていく。【貢献目標】**

基金業務が増え、職員一人当たりの業務が増加する中であっても同レベル以上の貢献度を目指す。(これまでの第4期中長期期間における実績平均：32.2%)

【参考】貢献目標のイメージ

- NEDOによる貢献については、研究開発全体の意思決定、企画、推進におけるキーパーソンを特定する問いに対して、NEDOを選んだ割合を評価。

追跡調査結果で事業者が「NEDO担当者が重要な役割を果たした」と回答した率40%以上を目指す。【貢献目標】

- 研究開発の方針決定、参画機関間の意見調整、研究開発の工程管理や推進、事業化の方針について、重要な役割を果たしたのは誰か。【複数回答可】

1 NEDO 担当者

2 プロジェクトリーダー（含むサブリーダー、テーマリーダー）

3 外部有識者（プロジェクト運営委員会や技術委員会等も含む）

4 社内のリーダーやキーパーソン

5 管理法人の担当者

6 存在しなかった

3. 各主要項目における評価指標

2 研究開発マネジメントを通じたスタートアップの成長支援

- NEDOが技術と資金の結節点となり、スタートアップに即した研究開発マネジメントを支援。研究開発プロジェクトを成功に導くとともに、研究開発型スタートアップ（ディープテック・スタートアップ）の経営・事業支援を行い、その飛躍的成長によるイノベーション創出を促進。

- **当該年度のスタートアップ向け研究開発マネジメント活動について、外部有識者により構成される委員会における総合評価を行う。【基幹目標】**

○標準：NEDOとして質の高い研究開発マネジメントが行われている

（例）・事業者に対して、必要となる企業・人材等の紹介。

・事業者からの相談に応じて、NEDO以外の機関も含め、適切な支援事業の情報等の提供。

・事業者に対して、マッチングイベント等を通じた資金調達・事業提携等に臨む機会の提供。

- 加点例・スタートアップと伴走支援者とのマッチングに関して、スタートアップの人材や伴走支援者の経歴・実績・人柄等を総合的に考慮し、両者の希望等も踏まえてマッチングを行うことにより、スタートアップに適切な伴走支援を提供。
- ・研究開発において必要となる試験分析・測定等に当たり、伴走支援者の知見等も活用しながら、NEDOが、必要な試験分析・測定等を行える機関の紹介や利用の斡旋を行うことで、研究開発の進捗に遅延が生じないよう支援。
- ・個社毎のニーズ等に寄り添ったプライベートピッチの開催や「イノベーションリーダーズサミット」への出展支援を行うなど、より事業会社とのマッチング成約率の向上を意識した取組を実施し、スタートアップが広く資金調達・事業提携等を行える機会を創出。
- ・将来性ある技術シーズを有する人材や事業者の発掘及び支援。

- **追跡調査結果で事業者が、NEDO担当者の対応に「満足している」「非常に満足している」と回答した率85%以上、かつ「非常に満足している」と回答した率35%以上を目指し、その割合を高めていく。【貢献目標】**

基金業務が増え、職員一人当たりの業務が増加する中であっても同レベルの貢献度を維持する（令和3年度実績：34.8%）

3. 各主要項目における評価指標

3 政策立案や研究開発マネジメントに貢献する技術インテリジェンスの強化・蓄積

- 産学官組織との連携や先を見据えた中長期技術戦略の策定を踏まえ、グローバル視点で最新の技術動向や市場展望を把握し、NEDOの研究マネジメントや政策立案に貢献する技術インテリジェンスの強化・蓄積・活用に取り組む。

- 当該年度の技術インテリジェンス活動について、外部有識者により構成される委員会における総合評価を行う。【基幹目標】

次の3点の取組について、政策立案や研究開発マネジメントへの貢献を評価

- ①内外の技術情報の収集・分析
- ②政策エビデンスの提供
- ③活動の成果の発信

- 技術インテリジェンス活動から得た技術シーズの評価結果*が上位の区分となる比率40%以上を目指し、その割合を高めていく。【成果目標】
- 基金業務が増え、職員一人当たりの業務が増加する中であっても同レベルの成果を維持する。（これまでの第4期中長期期間における実績平均：40.6%）

* インテリジェンス活動から得た技術シーズに基づいて行われる先導研究の評価結果。
公募された先導研究に参加・実施した事業者による回答となるが、先導研究で設定する課題の妥当性を外部有識者委員会で確認することで、政策立案や研究開発マネジメントに貢献しているかの妥当性を確認する。

3. 各主要項目における評価指標

II. 基金の資金管理

- 法定基金の資金管理に関わる業務を着実に遂行する

- 当該年度の基金の資金管理業務について、外部有識者により構成される委員会における総合評価を行う。【**基幹目標**】

標準：次の取組が適切に行われていることを評価

- ①基金管理（銀行等への預け入れや基金の運用面での工夫、体制整備 等）
- ②審査（電子化等の申請手続きの効率化・迅速化での工夫、不正対策、機微情報の管理、効率的な案件データ管理、体制整備 等）

加点：特筆すべき政策的要請による取組であること

他の取組への相乗効果が期待できる工夫をしていること など

補足：

- ✓ **基金で行う研究開発プロジェクト**については、その内容に応じて、「研究開発マネジメントを通じたイノベーション創出への貢献（評価項目1）」または「2. 研究開発マネジメントを通じたスタートアップの成長支援（評価項目2）」の中で、**各評価指標を評価**。

(例) ムーンショット、ポスト5G、GI、Kプロ、バイオものづくり基金：評価項目1
ディープテック・スタートアップ基金：評価項目2

(参考) 全体の戦略マップ

第4期KPI

第5期KPI案

■ 基幹目標

□ 非基幹目標

● 基幹目標

○ 成果目標

